

山梨県看護協会 富士・東部地区支部

かけはし

● 編集発行 ●

山梨県看護協会

富士・東部地区支部



支部長挨拶

富士・東部地区支部長

渡辺 久子

会員の皆様におかれましては、日ごろより地区支部活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。富士・東部地区支部では、「地域の看護職の連携を強化し、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的にして活動しています。

令和6年度定期総会では「COVID-19を経て私達が今やらなければならないこと」をテーマに講演いただきました。2023年5月にCOVID-19が5類感染症に分類されたことに伴い、厳格で特別な対応から以前の体制に近い形へと移行していますが、新たな課題や対応がそれぞれに求められていることを感じました。そして、看護職

を取り巻く環境は様々であり、感染対応他、災害対策や看護人材の確保と定着そしてキャリア支援、質の向上など複雑多様なニーズにも柔軟な対応が求められています。支部活動が会員の皆様一人ひとりに有益であるよう、役員一同努力して参りますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「COVID-19を経て私達が今やらなければならないこと」講演の感想

都留市立病院 佐藤 弘美

記念講演に参加し、新型コロナウイルス感染症の変遷や病院での対応を振り返ることで、今何が必要なのかを考える機会になりました。当初は一病院に新型コロナウイルス感染症用の病床を集約し、近隣三病院の看護師が協力し従事しました。そこでの経験は自院での感染症対策に生かすことができました。また、当院もやまなし感染管理支援チーム（YCAT）として近隣施設に支援する活動も行い「顔が見える関係づくり」の構築ができました。私自身も感染管理認定看護師として来年度より本格的な活動を行う中で、感染対策の正しい知識と技術の提供に貢献していきたいと思います。

佐藤会長出席のもと、令和6年度山梨県看護協会富士・東部地区支部定期総会を5月23日に主催しました。富士吉田市立病院の感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師の堀内愛さんによる「COVID-19を経て、私達が今やらなければならないこと」をテーマに記念講演会を開催しました。

令和6年度定期総会



令和6年度看護功労賞受賞者

つる訪問看護ステーション

小林 博子



このたびは、「看護功労賞知事表彰」を受賞させて頂きました。

皆様方に支えられての表彰を大変嬉しく思い、心より感

謝申し上げます。

訪問看護師として多くの利用者さんと出会う事ができ、沢山の事を教えて頂きました。

住み慣れた我が家で、地域で生活するという自分らしい生活が継続できる幸せを私達、訪問看護師も利用者さんからいただいております。

今後も地域の皆様の想いに寄り添った看護が提供できましよう日々精進していききたいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。

回生堂病院

奥 立美



この度、看護功労賞知事表彰受賞を頂き大変嬉しく光栄に思います。四十年以上にわたり看護師として働くことが出来ましたことは、これまでお力添えをくださった皆様のおかげだと感謝しております。

月日を重ねる中、医療・看護は目まぐるしく進歩し人々の生活や価値観も多様化してきました。このような中でも「看護の本質」は変わらないと確信し、相手を思いやり、尊重し、その人らしい生活を送れることを念頭に看護の仕事をしてまいりました。今なお職に就いておりますが、これからも感謝の気持ち

を忘れず精進してまいりたいと思います。

ありがとうございます。



忍野村役場 保健師

渡辺 文子



この度の受賞にあたり、職場の皆様をはじめとし、これまでご指導・ご支援をいただきました、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。私は、

昭和六十三年に二人目の保健師として、忍野村役場に就職させていただきました。保健師の活動は、まず地域のことを知ることが大切で、愛育会活動や家庭訪問・健診やリハビリ教室等で出会ったかたから、様々なことを教えていただきました。

時代とともに保健師の活動は、変わってきていますが、「住民の健康の保持・増進」という基本は変わらないと思います。今回の受賞を励みに、新たな思いで活動していきたいと思います。この度はありがとうございました。

看護の普及・啓発に関する恵右事業 「看護の出前講座」

上野原市立病院 助産師

大塩 しのぶ

この度、初めて講師を担当させて頂きました。中学生という職業意識を持つ年代を考慮し、助産師の視点から見た「いのちの大切さ」をお伝えすると共に、新生児人形を準備し互いの心音を聞く体験を取り入れました。

生徒さんたちは大事そうに人形を抱っこしたり、目を輝かせて心音を聞いた感想を言い合っていました。終了後には女子生徒さんから、「私は助産師になりたいんです、絶対になろうと思えました！」と声を掛けてもらい、将来の夢への後押しができたことがとても嬉しく、やりがいを感じられました。

助産師として地域への発信や

未来を担う

世代へ伝え

ていくこと

の大切さを

自分自身あ

らためて実

感すること

ができました。



ツル虎ノ門整形外科
リハビリテーション病院
看護師

西村 美和

1月20日に勝山中学校に看護の出前授業に行きました。看護職の業務内容や、私の看護観・人生観についてもお話させて頂きました。「勉強する苦しみは一時だけど勉強しなかった後悔は一生続く」とお伝えし、一年生のみなさんは真剣に聞いて下さり、後日、感想をお手紙で頂きました。今澤先生と47名の生徒さんから頂いたお手紙は、私の生涯の宝物になりました。貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。



富士吉田市立病院

牛久保ちえみ

ヨガ・座禅・写経で体を整える（調身）呼吸を整える（調息）心を整える（調心）に参加させていただき、智賢副住職から「誰しもが皆、自分自身が大切です。ご自身が大切な様に、目の前の患者さんにもまた自分が大切な

だと思える心を持ちましょう」と話された事がとても心に響きました。ヨガ・座禅・写経という非日常の中『自分と向き合う時間を大切に』する事は、自己を見つめ直し、調心する事で自分の心のケアをする機会となり、折れかかっていた心が救われました。

感謝 合掌

リフレッシュ研修に参加して
都留市の耕雲院にて



看護のケア向上研修会 「災害看護に関する研修会」

テーマ

「医療従事者と多職種との連携について」
「避難所での感染対策と実際について」

講師

山梨県富士山科学研究所
富士山火山防災研究センター

石峯 康浩 氏

山梨赤十字病院

山本 真紀 看護師長

富士吉田市立
看護専門学校教員

天野 圭一朗

令和6年9月21日（土）に、看護のケア向上研修会が開催されました。「医療従事者と多職種との連携について」「避難所での感染対策と実際について」をテーマに、指揮命令系統を早期に確立することの重要性や、災害派遣時の実際の写真やエピソードを交えた感染対策について講演いただきました。実際に当地区で災害が発生した時に保健医療体制を維持し、避難所を含めた住民の生活を守ることの困難さを痛感しました。いかに準備が重要か頭では理解していても、通常業務を優先してしま

うことが往々にしてあります。しかし、今回の研修には、富士・東部地区で活躍する多くの看護職が参加されており、災害対策に対する機運の高さを感じました。様々な組織に属する看護職が危機意識を持ち、それぞれの職場で対策を進めることで、一人でも多くの住民の命を守ることにつながります。災害対策は、医療職だけの問題ではありません。関係職種や地域住民と共に、それぞれができる準備を平時から進めていきたいです。



山梨県看護協会に入会しませんか

山梨県看護協会は地域住民のより質の高い看護を提供するための看護団体です。

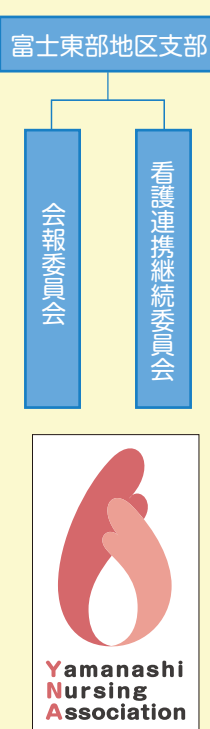
県内の保健師・助産師・看護師・准看護師で構成する看護団体です。

看護協会は保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があればどなたでも入会していただけます。日本看護協会と山梨県看護協会（各都道府県看護協会）への同時入会となります。詳しくはホームページを参照してください。

【山梨県看護協会】

富士・東部地区支部組織図

山梨県看護協会ロゴマーク



編集後記

会員の皆様のご協力により、今年度は多くの支部活動を開催することができました。

また、大変お忙しい中、かけはしの寄稿に快く対応して下さった皆様には心より深く感謝申し上げます。かけはしの発行により、地区支部活

動の様子を皆さまにお伝えすることが出来て大変うれしく思います。今後も地区支部活動へのご参加・ご協力をよろしくお願い致します。

会報委員

ツル虎ノ門リハビリテーション病院

西村 美和

富士吉田市立病院

渡辺 京子

上野原市役所

横田由利子